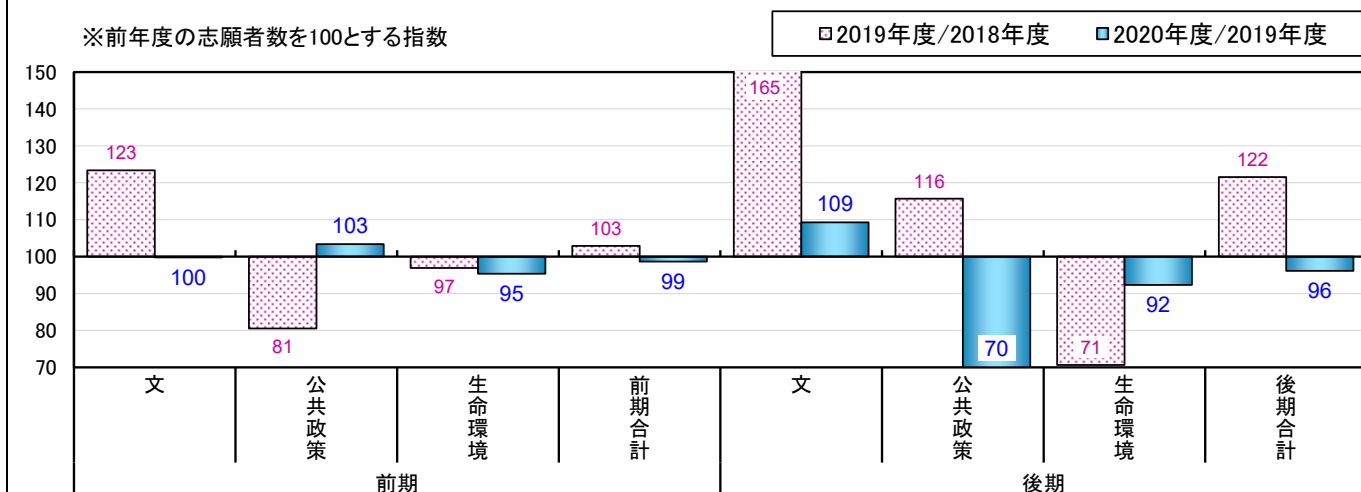


2020 年度入試状況分析【国公立大】

京都市立大：前期は微減、開設2年目(和食文化)は大幅増加 前期：-14人 後期：-27人



COMMENT ※ () 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は14人(99)の微減だが、3年ぶりに減少。後期は27人(96)のやや減少で、2015年度以降、前年度の反動による増減が続いたが、前年度大幅増加の反動は小さかった。

<前期日程>

- 文(100)は、2年連続大幅増加の反動はなく前年度並。学科別では、(欧米言語文化)(66)は2年連続大幅増加の反動で大幅減少。一方で、開設2年目の(和食文化)(154)は周知も進み大幅増加。他の2学科(日本・中国文学)(歴史)はいずれも(105)のやや増加。
- 公共政策(103)は、前年度大幅減少の反動は小さく、やや増加。学科別では、(公共政策)(107)は前年度大幅減少の反動は小さく、やや増加。(福祉社会)(100)は2年連続前年度並。
- 生命環境(95)は、系統への低い人気もあって、やや減少で3年連続減少。学科別では、増加した3学科の(環境・情報科学)(124)、(森林科学)(120)、(生命分子化学)(115)はいずれも大幅増加、一方で減少した2学科の(食保健)(67)、(農学生命科学)(78)は大幅減少、(環境デザイン)(86)も減少と増減がはっきりと分かれた。

<後期日程>

- 文(109)は、前年度大幅増加に引き続き増加。(和食文化)を除きセンター試験3教科(国、歴公、外)なので、数学失敗組の併願先として狙われた。学科別では、(日本・中国文学)(139)、(歴史)(122)は大幅増加。一方で、(欧米言語文化)(80)は大幅減少と対照的。開設2年目の(和食文化)(106)の志願者数は1人のみの増加。
- 公共政策(70)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。2010年度以降、前年度の反動による増減が継続。学科別では、(福祉社会)(54)、(公共政策)(84)のいずれも大幅減少。
- 生命環境(92)は、系統への低い人気もあって減少で3年連続減少。学科別では、(環境デザイン)(128)、(森林科学)(117)が大幅増加、(農学生命科学)(65)、(生命分子化学)(68)が大幅減少と増減がはっきりと分かれた。